

令和 7 年 11 月 28 日

「発達障害当事者から見た発達障害の情報に対するニーズに関する研究」 WEB アンケート調査へのご協力をお願い

本調査は、厚生労働科学研究費による「発達障害への地域支援に資する継続的な情報収集・活用方法・体制整備に向けた研究」(研究代表者:本田秀夫)の分担研究「発達障害当事者から見た発達障害の情報に対するニーズに関する研究」として実施するものです。発達障害情報のデータベース構築にあたってどのような情報の内容と運用が求められるかを、当事者の情報ニーズの視点から検討することを目的として下記調査を実施することとなりました。ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、調査の目的・意義をご理解いただき、ご意見をお聞かせいただきたく、お願い申し上げます。

- 発達障害の情報データベース構築にあたってどのような情報の内容と運用が求められるかを、当事者のニーズの視点から検討します。
- 国の機関では、発達障害のウェブサイト([「発達障害ナビポータル」](#)等)を運用していますが、発達障害の当事者の視点を反映させることにより、研究者や専門家・支援者だけでなく、当事者もウェブサイトへのアクセスをしやすくなると考えられます。
また、研究班全体で目指すデータベースのシステム・モデルの構築にむけて、当事者視点からの提案が可能となることが期待されます。
- 可能な限り多くの発達障害当事者より情報ニーズを探り、可視化するため、当事者の方々を対象とした WEB によるアンケート調査を実施します。

倫理的配慮

- ・収集したデータは研究担当者のみで共有し、本研究の目的以外には使用しません。
- ・結果は関連会議や学会等で発表することがありますが個人が特定されることはありません。
- ・本調査への参加は任意です。回答の有無によって不利益を被ることはありません。
- ・山梨英和大学研究倫理審査委員会承認を得ました(受付番号:2025-10-4)。

【研究名】「発達障害当事者から見た発達障害の情報に対するニーズ」

令和 6・7 年度厚生労働科学研究費 「発達障害への地域支援に資する継続的な情報収集・活用方法・体制整備に向けた研究」 研究代表者:本田秀夫(信州大学)

分担研究者:小林真理子(山梨英和大学)

研究協力者:与那城郁子(国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター)